

# 中小の力を結集 変貌する城東地域

## 東東京支局開設60周年

### 「日本の台所」 豊洲市場開場

#### 飲食店の行列絶えず連日盛況

1958年(昭和33年)、東京・城東7区の報道拠点として日刊工業新聞社城東支局(現在の東東京支局)が開設された。当時、日本は高度成長期の入口にあり、産業集積地である城東地域の企業群はその高い技術力と匠の技を駆使し、その後の日本経済の飛躍的な成長を支える一翼となった。成熟社会を迎えた今、城東地域は新たな発展を遂げるべく、輝きをさらに増している。東東京支局開設60周年を機に、この地の産業界の現状と今後を追った。

10月11日、東京都中央(東京都中央区)は19(デポ)として活用する卸売市場の豊洲市場(東35年の開場以来83年の。新たなブランド「豊洲ブランド」を世界へ発信していく市場関係者たちから豊洲市場への移転は石原都政時代の01年に移転を決定。それ以降、土壌汚染対策や追加安全対策工事などを進め、総額約6000億円を投じて整備し、17年の紆余曲折を経てようやく実地市場の1・7倍の敷地面積40万平方メートルを誇る豊洲市場は青果棟、水産卸売棟、水産卸売棟、水産卸売棟があり、



豊洲市場が開場した10月11日、同市場を視察した東京都の小池百合子知事(青果棟売場で行われた松茸の競り場)

飲食店約40店、物販店70店が軒を連ねる。開場後2カ月が過ぎた今も、お昼時以外の時間帯でも一般利用者の行列が絶えないう飲食店が出るほど連日盛況だ。良い話ばかりではない。ここに来てにわかに浮上してきたのが旧築地市場跡地への再開発を巡る動きだ。都では19年3月中をめどに旧築地市場跡地をどのように活用するか、具体的な再開発の方向性を公表する。これまでは旧築地市場跡地は売却しないと思われていたが、11月下旬に開いた庁内の関係局長会議で、巨額の赤字が毎年続く見通しの市場跡地を「有償所管換え」を検討するとの見解を示した。これは売却もあり得る、との方針変更で、その跡地での公営市場の再整備(一食のテーマパーク機能)を有する新たな市場の実現は難しくなると見られる。一般会計に移すかどうかの決定は年明けにも結論を出す。都は、これまでに旧市場跡地を売却した場合の売却額を4506億円と試算。売却の場合、豊洲市場整備費の借入に当たる3657億円は完済できるものの、豊洲市場は1日当たり500万円と600万円とも言われる維持管理費がかかるため、市場会計は30年程度で資金ショートが見込まれる。一方、旧市場跡地を50年間の定期借地にして賃料収入があり、35年程度で黒字化すると試算している。その旧市場跡地には20年東京五輪・パラリンピックの際にバスや乗用車計2700台分の駐車スペースを設けることが決まるとも、19年1月に着工、



豊洲市場は冷蔵施設や温度管理が整った空間閉鎖型市場。開場初日から、ときはと仕事をこなす市場業者たち



飲食店の寿司大に幾重もの行列をなすお客さん。訪日外国人も含め、地元や観光客も連日多く訪れている

### 併設予定の観光拠点「千客万来施設」 都主導でイベント開催

「区独自の産業支援「江東ブランド」推進事業の進捗は、

20年3月に完成する予定だ。ただ、当初4000台分が必要と言われていたことから、残りの1300台分をどう工面するか悩んでいる。23年春に開業が先延ばしとなった豊洲市場併設予定の観光拠点「千客万来施設」予定地では、19年1月から3月にかけての毎週土曜日に一般利用者向けのイベントを開くことが決まった。豊洲市場の食材を使った食事などを提供するほか、野菜や果物なども販売する。4月以降もイベントを開く予定で、20年1月からは仮設施設で「場外マルシェ」を開設する予定だ。都が利用客を呼び込む形をとることで、開業当初の豊洲市場の賑わいを少しでも長く継続したいとしたい考えだ。

2020年東京五輪・パラリンピック本番まであと1年余り。東京都中央卸売市場が豊洲市場に開業し、まちの活気もあふれてきた。城東地域産業界の現状と今後のまちづくりについて、江東区長山崎孝明氏に聞いた。(大塚久美)

#### インタビュー

#### 江東区長 山崎 孝明 氏



「子どもたちには世界中の国旗・国歌を聞かせたり、歴史を学ばせている。区内に競技場が多くあるので、小学校46校の5年生をバスに乗せ、順番に競技場工事現場を見学させている。日本はモノづくりの国だが職人や技術者は減っている。建設現場を見た一人でも多くの子どもが将来は建築家になりたい、技術者になりたい、という思いを

### モノづくりの未来 子どもたちに託す

「32社の認定企業があり、19年1月に9社が新たに加わる。認定企業だけでなく、そこに関連する協力会社や下請け企業も含めてみんながやる気になった、という良い話も聞いている。野田瑠璃は、婦人方に容器が気に入られて全国百貨店に出ているし、木製家具製造のイオベエ社は、外国人デザイナーを使って海外との取引が広がっている。『区独自の産業支援「江東ブランド」推進事業の進捗は、

### 「江東ブランド」で裾野拡大

「都には観光の観念がなかった。晴海の五輪選手村には大会後、5000戸超、1万人規模の住宅ができるので、住民の通勤手段として都はバス高速輸送システム(BRT)を走らせることになった。実は将来、リニア中央幹線の駅が品川にできることで、そこにつないでどうするかという話も内々にはある。運賃1200〜1500円の都市型ロープウェイで東京港を渡り、東京の夜景を空から見るなんて楽しいと思う。実現するかどうかは、都道の上を通すので許可を出す東京都のトップ次第だ。知事ももう少し仲良くなられたら話してみようと思う」

CONNECT THE WORLD, CONNECT THE FUTURE

JCU

その技術が 世界を繋ぎ 未来に繋がる

www.jcu-i.com

私たちは、お客様のニーズの“その先”を見据えた表面処理技術の提供で、未来のモノづくりをリードし、新たな市場の創造に貢献していきます。

株式会社 JCU

〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 16階  
TEL: 03-6895-7001 FAX: 03-6895-7021

Hyper Slitting Technology Service ISO9001/ISO14001認証取得

非鉄金属スリット加工/シートカット加工/バリレス加工

リチウムイオン二次電池のタブリード(負極材・正極材)・電極板に最適なスリット製品をご提供します

鏡面切り

切れ味の証明

極薄部材でも断面が輝くほど精緻に加工

●高機能広幅機 最大スリット幅640mm対応・加工機ライン長さ4m

●5大特性 (1)二次線無し (2)波打ち無し (3)巻シワ無し (4)内径指定無し (5)エッジ部反り戻り無し

〒121-0055 東京都足立区加平3-14-11  
TEL: (03)-3605-7730(代) FAX: (03)-3605-7753  
工場:加平工場・新潟工場  
URL http://www.nakadai-metal.com

仲代金属